

【現状】

(1) 有効求人倍率(H29年11月)

- ・山梨 1.43倍(前年同月1.23倍) 全国29位
- ・全国 1.56倍(前年同月1.41倍)

(2) 産業構造

県内総生産のうち、製造業が約4分の1を占めている。

県内総生産の業種別構成比(H26年度県民経済計算年報)

業種	製造業	サービス業	不動産業	卸売・小売業	建設業	その他
構成比	24.2	18.6	13.3	9.4	7.5	27.0

(3) 製造品出荷額等(出典:H28経済センサス活動調査(従業者4人以上の事業所))

製造品出荷額等の増加率が全国1位、事業所数の増加率が全国2位(前回調査比)

(前回調査)

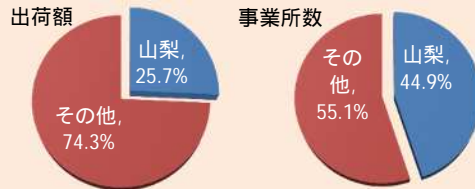
- ・製造品出荷額等 2兆1,331億円 2兆4,426億円(14.5%増)
- ・事業所数 1,858事業所 2,106事業所(13.3%増)
- ・従業者数 68,912人 70,222人(1.9%増)

本県の製造品出荷額等のうち、機械電子産業が72.4%を占めている。

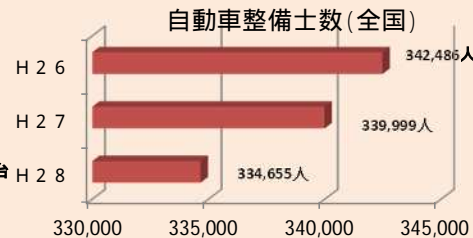
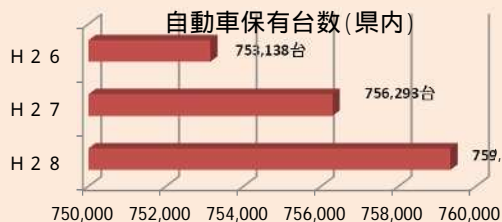
本県の産業中分類別構成比

産業分類	機械電子産業	食料品	その他	合計
製造品出荷額等	1兆7,683億円	1,920億円	4,823億円	2兆4,426億円
構成比	72.4%	7.9%	19.7%	100.0%

本県の貴金属製装身具(真珠装身具を除く)出荷額は、全国の4分の1を占めている。
・出荷額 298億円(シェア25.7%)



(4) 自動車保有台数と自動車整備士数



出典: 関東運輸局山梨運輸支局調べ

出典: 自動車分解整備業実態調査

【産業人材育成機関の取り組み】

(1) 産業技術短期大学校

本県の基幹産業である機械電子産業や観光産業へ、即戦力として活躍できる人材を輩出

塩山キャンパス

定員100名 4科(生産技術科、電子技術科、観光ビジネス科、情報技術科)

都留キャンパス

定員30名 2科(生産技術科、電子技術科)

- ・H25年4月、富士・東部地域の産業界からの要望に対応して都留キャンパスを設置し、同地域の工業系高校と連携して実践技術者を育成
- ・更なる魅力向上を図るため、在校生や高校生、県内企業のニーズ等を踏まえ、幅広い視点から取り組みを検討

(2) 宝石美術専門学校

日本で唯一のジュエリー関連の公立専門学校を運営し、本県の代表的な地域産業である宝飾産業へデザインスキルや確かな技術を持つ人材を輩出

定員35名 1科(ジュエリー科)

- ・H27年度から1学年定員(50人 35人)、修学年数(2年 3年)を見直し(少人数によるきめ細かな指導、業界スペシャリストの育成)
- ・H28年度から2年生全員を対象に企業インターンシップを実施(受入企業:H28年度19社、H29年度20社)

(3) 峡南高等技術専門学校

2級自動車整備士養成施設(県内唯一)及び第二種電気工事士養成施設で専門的技能と知識を有する人材を輩出

定員45名 2科(自動車整備科、電気システム科)

- ・H29年4月、団塊世代の引退や自動車保有台数の増加等を背景に、自動車整備士が不足していることから、自動車整備科の定員を1学年20名から25名に拡充

各機関における就職状況と目標

機関名	H26	H27	H28
産業技術短期大学校	99.0%	100.0%	97.7%
(うち県内就職率)	82.3%	82.9%	87.1%
宝石美術専門学校	96.6%	95.2%	-
(うち県内就職率)	67.7%	61.9%	-
峡南高等技術専門学校	100.0%	100.0%	100.0%
(うち県内就職率)	96.4%	100.0%	96.9%

宝石美術専門学校: 生徒の4割は県外出身者。
H28は3年制移行により卒業生なし。

(第10次山梨県職業能力開発計画目標数値)

項目	H28(実績)	H29(目標)	H32(目標)
専門課程・普通課程修了者の就職率	98.9%	100.0%	100.0%

専門課程(産業技術短期大学校)、普通課程(峡南高等技術専門学校)